基 礎 徹 底 演 習 問題プリント

2次関数②

[8]

 $f(x) = x^2 - (a+b+5)x + 4a+b$ (ただし、a, b は定数) があり、方程式 f(x) = 0 は x = 2 を解にもつ。このとき、 $b = \boxed{r}$ $a - \boxed{1}$ である。

- (1) 不等式 f(x) < 0 の解が p < x < 2 の形になるとき, $p = \boxed{ \dot{ j} } a \boxed{ \bot }$ であり,a の とりうる値の範囲は, $a < \boxed{ \dot{ j} }$ である。

ア	1	ウ	エ	オ	カ	キ	ク

年 組 番 名前

9

a は定数とし、関数 $y=(x^2-2x-1)^2-a(x^2-2x-1)-3$ の $0 \le x \le 3$ における最大値を M、最小値を m とする。

- (1) $x^2-2x-1=t$ とおくと、 $0 \le x \le 3$ における t の値の範囲は $PT \le t \le$ す である。
- (2) a = -2 のとき

である。

(3) 0 < a < 3 のとき

である。